

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地下水汚染対策事業			会計	款	項目	大専	小専
				01	04	01	05	01
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	大島 尚文			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	井戸所有者	意図	地下水の環境基準の適合
事業内容	井戸の水質検査を実施し、所有者に結果を報告する。地下水汚染の現状を把握して早期対策に結びつける。			
事業開始から現在までの状況変化	事業開始当初から比較し、調査井戸数が多かったが、汚染状況範囲が判明したことから対象井戸が4箇所減少している。自然由来でトリクロロエチレンの基準値超過箇所もあったことから、継続して観測している。また、H28年度に西初石地区の地下水汚染の調査を行っている地下水汚染防止対策事業（20観測井）と統合し継続する。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	水質調査井戸数	25	24	7	箇所	→→
②	T C E等の基準値オーバー	5	4	0	箇所	→→	委託結果報告書から
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・井戸水利用の減少 ・水質汚染への関心の高まりから、今後も継続して実態把握に努める。 ・西初石地区の汚染源周辺では、URによる区画整理事業が令和元年5月に完了。観測井の確保ができない状況となっている。
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,415,300	5,110,440	4,737,120	
事業費(b)(円)	982,800	1,083,240	781,920	
うち一般財源	805,800	885,240	641,920	
職員給与費(c)(円)	3,432,500	4,027,200	3,955,200	
人役・職員(人)	0.50	0.60	0.60	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	事務改善を行い経費の削減を図る。	③取組における課題(Check)	必要性や効率性の検証。
②H30に実施した取組(Do)	事務の必要性や効率性について検証を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	事務改善を行い経費の削減を図る。